

# 目次

凡例  
資料解説

## 一 ロンドン軍縮会議

- 一 〔回訓問題研究の経緯〕（後藤光藏陸軍大尉記）……………三
- 二 倫敦會議に関する質問の結果陸軍にも関係  
を及ぼすべき事項に就て（陸軍省軍事課）……………五
- 三 〔議會答弁の爲の研究〕 決定案（陸軍省軍事課）……………七
- 四 海軍軍令部の法制局提示の問題に対する解釈（参謀本部）……………八
- 五 海軍軍令部の法制局提示の問題に対する解釈〔に關する陸軍省の意見〕……………一〇
- 六 統帥権の範圍（参謀本部）……………二
- 七 国防の責任（参謀本部）……………三
- 八 統帥権問題に關し法制局当事者と問答の要旨（陸軍省軍事課）……………三
- 九 軍政統帥關係事項（陸軍省）……………七

一〇	「軍政、統帥関係事項」に対する第一部長意見	三〇
一一	衆議院議員内田信也君の質問及之に対する陸軍大臣の答弁書（陸軍省）	三三
一二	兵力量の決定に関する答弁案に対する意見（参謀本部）	三三
一三	〔参謀本部〕部長会議の結果決定案	三三
一四	所謂兵力量の決定に関する研究（陸軍省）	三四
一五	統帥権に関する研究（参謀本部）	三六
一六	統帥権及軍部文官大臣制等の諸問題に対する意見（参謀本部）	四〇
一七	統帥権及軍部大臣事務管理に関する質問及答弁抜萃（陸軍省軍務局第一課）	四〇
一八	倫敦会議後始末に関する軍令部の態度（後藤光藏陸軍大尉記）	四〇
一九	統帥部権限問題に関する部長会議（山脇正隆第一課長）	四一
二〇	倫敦会議回訓決定前後事情の真相（参謀次長）	四一
二一	倫敦条約に拠る海軍兵力量御諮詢に至る経緯（参謀本部総務部長）	四二
二二	軍事参議会に於ける議長の表決権に就て（陸軍省軍事課）	四二
二三	倫敦海軍条約に関する件通牒（海軍軍令部）	四二
二四	御諮詢事項に対する覆答要旨（海軍軍令部長）	四二
二五	枢密院議長海軍軍事参議会奉答文内見希望に関する件（参謀本部）	四三

二六 枢密院議長の軍事参議會奉答文内見問題に關

し侍從武官長に先例を聞く(後藤大尉記)……………

三

二七 華府會議の前例(白井茂樹大尉)……………

三

二八 [枢密院用の想定問答](陸軍省軍事課)……………

三

二九 内閣官制第七條に就て(藤田嗣雄)……………

七

三〇 憲法第十二條の輔弼の責任に就て(参謀本部第三部長廣瀨壽助意見)……………

六

三一 統帥權に就て(陸軍大佐山脇正隆)……………

六

三二 帝國憲法と参謀總長及軍令部長の權限(蜷川新)……………

六

三三 統帥權問題に對する恢弘会の態度に關する件……………

六

三四 [統帥權問題に對する洋々会の態度](洋々会)……………

六

二 滿洲事變

第一節 前夜

1 滿蒙の權益

一 滿洲の鐵道(参謀本部)……………

一〇

二 滿蒙に於ける本邦勢力の概要(参謀本部)……………

一五

2 滿蒙紛争事件

三 東支〔鐵道〕事件に關し蘇聯邦の行へる

軍事宣伝並に陰謀に關する考察(參謀本部)……………

二〇〇

四 東支〔鐵道〕回收事件 其十三 西部国境方面赤支兩軍戰鬥詳報(參謀本部)……………

二〇五

五 自大正八年一月至昭和四年九月 守備勤務上兵器使用事件調(關東軍參謀部)……………

二〇六

六 自昭和二年一月至昭和五年十二月 最近四年間に於ける滿蒙關係事件一覽表(關東軍參謀部)……………

二〇九

七 自昭和二年一月至昭和五年十二月 最近四年間軍隊關係重要涉外事件一覽表(關東軍參謀部)……………

二一〇

3 事変直前の情勢

八 「滿洲事変史第一卷」拔萃(參謀本部)……………

二一三

第一節 事変前の情勢及滿洲の地理 第一款日支紛争の経緯(二七六) 第一款日支兩國軍備の状況(二七八)

九 回想「滿洲事変の真相」拔萃(中野良次)……………

二一六

一 關東軍の滿蒙觀(二四四) 滿蒙問題處理案(三三〇) 二 現地情勢(二六〇) 三 事変直前の軍の行動(二六一) 四 事変の突発(二五四)

第二節 事変の展開と滿洲国

1 建国への通

一〇 滿洲事変に於ける軍の統帥(上)(參謀本部)……………

二一九

第一章（欠） 第二章 事変勃発より昭和六年十月下旬に至るまでの関東軍の統帥（三五） 第三章 関東軍の黒龍江省進出（三五） 第四章 関東軍の錦州軍政権掃蕩（四二）

一一 満洲事変に於ける軍の統帥（中）（参謀本部）……………四〇

    第一章 関東軍の吟爾賓進出（四九）

一二 満洲国建国宣言……………五〇

一三 執政宣言……………五二

一四 回想「満洲事変の真相」拔萃（中野良次）……………五七

    一 事件の天王山—吉林派兵（四七） 二 満鉄との関係（四九）

一五 時局に際し在東京各国大（公）使館附武官の動静（参謀本部露西亞班）……………五三

一六 奉天市政其後に於ける状況（参謀本部）……………五三

一七 満洲事変に対する学者の意見（陸軍省調査班）……………五三

一八 満洲事変と国際聯盟（横田喜三郎）……………五三

一九 満洲事変に対する外務省白鳥情報部長の講演（参謀本部）……………五〇

二〇 幣原外相に対する陳友仁の電報及之に対する外人記者の評論（参謀本部）……………五三

二一 前独逸大使本多熊太郎氏講演要旨（陸軍省調査班）……………五三

二二 経済封鎖怖るるに足らず（帝国在郷軍人会本部）……………五九

一三	久保田囑託案（久保田忠一）……………	五七
一四	東北自由国建設綱領（金井章次）……………	五八
一五	于冲漢の出廬と其政見（関東軍司令部）……………	五三
一六	自治指導部布告第卅号（于冲漢）……………	五二
一七	滿蒙獨立建国論（高木翔之助）……………	五三
一八	意見書（徳古來）……………	六八
一九	滿蒙新建設に對する住民の意嚮（陸軍省調査班）……………	六三
二〇	新滿蒙の建設（朝日新聞）……………	六三
二一	滿洲建国前夜の心境（石原莞爾）……………	六〇
二二	滿洲建国と皇国の使命（佐々木到一）……………	六〇
二三	對滿蒙方策（第四次案）（関東軍司令部）……………	六六
二四	滿洲国指導要領（案）（橋本虎之助関東軍參謀長起案）……………	六〇
三五	建国当初に於ける黒龍江省の回顧 卷一（林義秀）……………	六三
	第一章 十月二十六日以前の情況（六四） 第二章 自十月二十七日至十一月十八日（六四） 第三章 自十一月十九日至十一月二十日の情況（六五） 第四章 自十二月一日至昭和七年四月十日迄の情況（六五）	
三六	自昭和六年十月至同十二月 發電綴（齊々哈爾特務機關）……………	六〇

3 馬占山問題と討匪

三七 建国当初に於ける黒龍江省の回顧 卷二（林義秀）……………七六

第一編 政局（七〇） 第二編 警備（七〇） 第一章 概説（七〇） 第二章 皇軍（七三）第三章黒龍江省軍（七四）

附録第一（本期間に於ける軍事方面重要施設）（七六） 第二（本期間に於ける行政方面重要施設）（七三） 第三（本期

間第一支隊の軍事に関する重要歴）（七六）

三八 建国当初に於ける黒龍江省の回顧 卷三（林義秀）……………七三

第一編 政局（七四） 第一章 昭和七年秋の江省の政局の概観（七四） 第二章 省政の細部（七五） 第三章 呼倫

貝爾事件の梗概（七五） 第二章 第二編警備（七五） 第一章概説（七五） 日本軍の状況（略） 第三章 江省軍の状

況（七五） 第四章 日本軍と江省軍との協同（七六） 附録第一（九月に於ける行政方面の重要施設）（七五） 第二

（九月に於ける軍事方面の重要施設）（七六） 第三（馬占山の逃走経路）（七六） 第四（江省政府と蘇炳文との交渉

の顛末）（七七） 第五（昭和七年九月二十七日板倉機遭難の顛末）（七七） 第六（自九月至十二月軍事に関する重要

三九 回想「満洲事変の真相」抜萃（中野良次）……………七五

4 間島処理と熱河経路

四〇 対熱河政策（関東軍司令部）……………七六

四一 対間島方策（関東軍・朝鮮軍協定）……………七九

四二 間島協議会規定（朝鮮軍司令部）……………七一

四三 討熱作戦の回顧（佐々木到一）……………七三

四四 回想「満洲事変の真相」抜萃（中野良次）……………七五

一 兵站計画 (六七) 二 集中輸送計画 (五九) 三 通信計画 (五六) 四 日記の一部抜萃 (八三)

5 事変の推移に伴う諸件

四五 聯盟調査員に対する準備案 (関東軍参謀部) ..... 八七

四六 國際聯盟調査員に対する説明事項甲号 (日本軍部側の分) (関東軍参謀部) ..... 八三

四七 同 右 乙号

(満洲国側説明用として軍より満洲国外交部総務司長に要望事項) ..... 八三

四八 軍司令官の説明案 (片倉参謀起案) ..... 八五

四九 満洲国協和会設立委員会説明 ..... 八六

五〇 関東軍司令部に於ける國際聯盟調査員の質議応答事項抜萃 (関東軍司令部) ..... 八五

五一 「満洲事変史第一巻」抜萃 (参謀本部) ..... 八五

國際聯盟支那調査委員の行動

五二 満洲国に対する日本人主要職員採用に関する件通牒 (関東軍参謀長) ..... 八六

五三 満洲国政府に服務する日本人官吏の人事取扱に關し軍参謀長より國務院総務庁長に対する依命通牒 ..... 八六

五四 満洲国に服務する日本人以外の官吏の人事取扱に關し軍参謀長より國務院総務庁長に対する依命通牒 ..... 八六

五五 軍司令官より駒井長官以下満洲国官吏に ..... 八六

与ふる要望事項（案）（関東軍参謀部）……………八〇

五六 満洲国協和会設立委員会議事録（満洲国協和会設立委員会）……………八〇

五七 満洲国協和会発会式に於ける訓詞……………八〇

一名譽顧問本庄繁詞（八四九） 二 執政訓詞（八四九） 三 会長鄭国務総理訓詞（八四九）

五八 上奏（前関東軍司令官本庄繁）……………八五

五九 満洲統治に於ける憂患（佐々木到一大佐）……………八五

第三節 回想

1 関係主務者の回想

六〇 満洲事変（遠藤三郎）……………八五

第一章 経過の概要（八五） 第二章 中央部の指導（八四） 第一節 統帥（八四） 第二節 政務（八六） 第三章 事変の本質的觀察（八七）

六一 国際聯盟脱退管見（松岡代表随員土橋勇逸記）……………八七

六二 回想「満洲事変の真相」拔萃（中野良次）……………八八

一 軍事輸送に就て（八八） 二 胎動時代の満洲電々（八九） 三 軍の兵力増加の状態（九〇）

第四節 塘沽停戦協定後の満洲国

1 理念

六三	帝制実施の際の交換公文（陸軍省軍事課写）	六五
六四	満洲帝国協和会の根本精神（関東軍司令官）	六七
六五	満洲国の根本理念と協和会の本質（関東軍司令部）	六九

2 指導・育成

六六	対満政策遂行に関する意見（南関東軍司令官）	六三
六七	人事に関する事項（関東軍参謀部）	六〇
六八	満洲国人事行政指導方針要綱（関東軍参謀部第三課）	六三
六九	人事ニ関スル往復電	六六
一	軍務局長↓軍参謀長（六六） 二 軍参謀長↓軍務局長（六六） 三 軍務局長↓軍参謀長（六五）	
七〇	「満洲の現況に就て」御進講資料（林陸軍大臣兼対満事務局総裁）	六六
七一	国務大臣の輔弼に就て（満洲国関係）（枢密顧問官清水澄）	六〇
七二	満洲国陸軍指導要綱（参謀総長）	六七
七三	蒙古民族指導の根本方針（関東軍司令部）	六八
七四	満洲農業移民百万戸移住計画（同右）	六九
七五	満洲国重工業確立要綱（同右）	七〇
七六	在満朝鮮人指導要綱（同右）	七〇

七七 鮮農取扱要綱(同右)…………… 六七

第五節 關東軍職員表

七八 關東軍職員表・昭和六年八月一日調(關東軍司令部)…………… 六七

七九 同 右 ・昭和七年三月一日調(同 右)…………… 六七

八〇 關東軍飛行隊編成表・昭和七年三月三十一日調(關東軍飛行隊本部)…………… 六七

八一 間島臨時派遣隊職員表・昭和七年四月上旬(朝鮮軍司令部)…………… 六七

八二 第八師團職員表・昭和七年四月二五日調(關東軍司令部)…………… 六七

八三 第十師團職員表・同 右 (同 右)…………… 六七

八四 第十四師團職員表・同 右 (同 右)…………… 六七

八五 關東軍司令部高等官職員表・昭和七年九月一日調(同右)…………… 六七

八六 軍直屬部隊獨立守備隊司令部其他職員表・昭和七年八月八日調(同 右)…………… 六七

八七 軍直屬部隊關東憲兵隊司令部其他職員表・昭和七年八月八日調(同 右)…………… 六七

八八 騎兵第四旅團職員表・昭和七年九月二三日調(同 右)…………… 六七

八九 混成第十四旅團職員表・昭和七年九月二四日調(同 右)…………… 六七

九〇 第六師團職員表・昭和七年十二月十日調(同 右)…………… 六七

九一 關東軍職員表・昭年九年三月調(同 右)…………… 六七